

令和4年度

京田辺市立田辺小学校

令和4年10月31日

学校だより

済美館

せいびかん

たなべっ子

た く ま しい からだと心

な か よ し

べ ん き ょ う

田辺小学校の研究について

研究推進部長 前田 和輝

田辺小学校では教員の授業力向上と児童理解を深めるため、研究テーマを設定し、研究を進めています。

「共生社会の実現を目指した集団作り～すべての児童にわかる授業と楽しい居場所を～」という研究テーマを掲げ研究3年目になります。今年度は子どもたちの実態やアンケートの結果を踏まえ、「伝え合い」をキーワードとして、自分の考えを伝える機会を大切にすることを意識して全職員で研究に取り組んでいます。

子どもたちは、教室でたくさんの時間を過ごします。その授業の中で、「わかった」「できた」を大切に、その考えを友だちと伝え合うことでクラス・学年が楽しい居場所となることを目指しています。

わかる授業研究部では、1学期に3年生の理科、2学期には5年生の国語科で研究授業を行いました。

自分の考えを持ち、その考えをタブレットで友だちと伝え合う中で、自分の考えを再構築できるような授業を考えました。3学期は2年生で研究授業を予定しています。研究テーマへ迫ることができるように精進していきます。

楽しい居場所研究部では、学級力アンケートを実施し、クラスの良いところ・改善点を確認し、何ができるのか考え、実施しています。

校内学力向上部では、生活に関するアンケートを実施し、結果を集約して実態の把握に努めています。また、4月に行われた6年生の全国学力テストの分析を行い、田辺小学校の強みや弱さを確認しました。

今後も引き続き研究テーマへ迫ることができるように精進していきます。

最後になりますが、保護者の方々、地域のみなさまには、学校での取組にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。今後も変わらぬご支援、ご協力をお願いします。

共生社会の実現を目指した集団作り

すべての児童に「わかる授業」と「楽しい居場所」を

研究推進委員会

・3部との連携・校内研修の計画

・学力テストの分析
・アンケートの実施、集約
・家庭学習の在り方の検討
・校内掲示板の管理

校内学力向上部

・学級力向上シートの活用
・児童会や委員会の検討
・学級活動における話し合い
活動の進め方の検討

・研究授業の計画
・授業点検シートの見直し
・タブレットを活用した
話し合い活動の進め方の検討

楽しい居場所研究部

わかる授業研究部

＜お家でできる伝え合い＞

操作的な会話だけでなく、交流的な会話を増やして。

忙しい中ではどうしても操作的な会話が増えてしまいます。

交流的な会話を意識して使うことで、自分の考えを伝えたり、おうちの人の考えを聞いたりする機会となります。交流的な会話は気持ちの面でもリラックスにつながります。

（参照 医師・臨床心理士 田中茂樹「子どもが幸せになることば」）

＜操作的な会話＞

～しなさい、
～したらだめ
（行動を指示する）

＜交流的な会話＞

～は楽しいね。
～はどう思う
（思いや考えを伝える）

月目標：美しい学校にしよう

11月の行事予定

1日（火）校外学習1・3年

2日（水）ALT 来校

3日（木）文化の日

7日（月）図書館司書来校週

8日（火）校外学習2年・6年

9日（水）就学時健康診断

（全学年短縮4時間授業 給食終了後下校）

10日（木）校外学習4年・5年

11日（金）中学校授業体験（6年）

15日（火）ほほえみ集会（全校お話し会） クラブ

17日（水）異学年交流会（交流会を実施）

18日（金）安全の日、登校指導

24日（木）異学年交流会予備日

26日（土）休日参観（地域別）

（全学年通常4時間授業、給食後下校）

27日（日）京田辺市子どもの主張大会（6年該当者）

28日（月）振替休業日

29日（火）朝礼 委員会

30日（水）誕生日給食

今後の新型コロナウイルス感染拡大防止に係り、予定を変更する場合はフェアキャスト等でお知らせします。

地震避難訓練

（11月中に実施します。）

中学校授業体験

中学校を見学し、中学校の雰囲気慣れ、来年度に向けての準備をします。

■日 時 11月11日（金）

13:30～16:15

■場 所 京田辺市立田辺中学校

■内 容 学校紹介・授業見学・クラブ見学等

■その他 現地から地域ごとにまとまり交通安全には十分注意させながら帰ります。

校時変更について

11月9日（水）は、就学時健康診断のため、**全学年短縮4時間授業（給食終了後下校）**です。

冬の寒対策

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザ等にかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、十分な湿度を保つこともインフルエンザ等の予防に効果的であると考えられます。以下の通り対策を実施しますので、ご協力をよろしくお願い致します。

1 時 期 11月14日（月）

～3学期末まで

2 方 法 登校後、きれいな雑巾を水で濡らし、各自のいすにつるして加湿を行う

＜お願い＞

新しい雑巾1枚のご用意をお願いします。



休日参観について

学校だより **済美館**

地域別参観

- 2 時間目 (興戸地域・新田辺東地域・河原地域)
- 4 時間目 (北田辺地域・新田辺西地域・南田辺地域)

詳細は 10/14 にフェアキャストでお知らせした文書で確認してください。本校 HP に掲載しています。

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各家庭 1 名の参加にご協力ください。
- ・来校の際は各家庭で検温を実施するとともに、発熱等かぜ症状がある場合は来校を控えてください。また、教室内に入らず廊下からの参観をお願いします。
- ・通常 4 時間授業後に給食を食べて下校します。

1, 2 月の主な行事予定

- 7 日 (水) 地域仲良し会・一斉下校
- 16 日 (金) 短縮 4 校時 給食終了 個別懇談会
- 19 日 (月)
～ 21 日 (水) 短縮 4 校時・個別懇談会
- 22 日 (木) 終業式 短縮 3 時間

新しい職員の紹介

- 片岡 亘 先生
11 月 1 日 (火) より 1 年 2 組を担当します。
- 上田 敏郎 先生
11 月 1 日 (火) から学級運営補助員として 1 年生を担当します
よろしくお願いします。

京辺市立田辺小学校第 6 学年全国学力・学習状況調査の結果(令和 4 年 4 月 19 日 実施)

【調査のねらい・内容】

全国学力・学習状況調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析すること、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるため、文部科学省が全国の小学校第 6 学年、中学校第 3 学年を対象に実施しています。本校でも第 6 学年児童が参加し、国語、算数、理科の「教科に関する調査」、及び「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」に取り組みました。個人結果については、先日お配りさせていただきましたが、本校全体の概要を分析しましたのでお知らせします。

【国語の状況概要】

国語全体の平均正答率は、全国平均を上回るとともに、京都府平均（以下「府平均」）も若干上回りました。

正答率の分布では、中央値をはさんで右側に山が見られ全国・府の状況と類似しています。

学習指導要領の内容に即しまして、「言葉の特徴や使い方に関する事項」と「話すこと・聞くこと」の観点では全国平均及び府平均ともに上回るという国語全体と同様の正答率でしたが、「書くこと」では全国平均を上回りましたが府平均では下回りました、「読むこと」では全国・府平均ともに上回りました。

また、問題形別の観点から見ると、「選択式」「短答式」「記述式」のすべてにおいて全国・府平均を上回っているものの、「記述式」の平均正答率自体は高いとはいえないので（55.6%）、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力と文章を構成し、目的に応じた文章を書く力を育むことが必要と言えます。

【算数の状況概要】

算数全体の平均正答率は、全国平均を上回り、京都府平均（以下「府平均」）府平均と同等でした。

正答率の分布では、中央値をはさんで右側に山が見られ、全国・府の状況と類似しています。

学習指導要領の領域に即しまして、「数と計算」と「図形」「変化と関係」及び「データの活用」では平均正答率が全国を上回り、府平均も同等かやや上回っていました。観点別でも「知識・技能」と「思考・判断・表現」では、全国平均、府平均ともに上回る結果となりました。

なお、問題形式の違いによる正答率もほぼ全国平均・府平均を上回っていました。

具体的な問題においては「変化の関係」領域の割合に関する問題の正答率が低い結果が見られました。個々の問題においても理解を一層深める取り組みが大切であると思います。

【理科の状況概要】

理科全体の平均正答率は、全国平均及び京都府平均（以下「府平均」）とも若干上回りました。

学習指導要領のどの領域でもほぼ全国平均並びに府平均を上回る結果でした。観点別でも問題形式別でもほぼ全国平均、府平均ともに上回っていました。

具体的な問題では、「日光は直進することを理解している」という知識・技能をみる問題での正答率が低くなっていました。学習したことを振り返りなどでしっかり理解が定着するように取り組むとともに、逆に問題に対するまとめからその根拠を実験結果をもとに自分なりに考えを持てるような取り組みもさらに進めていきたいと思っています。

質問紙調査の中の、「(理科)の学習は好きですか?」「大切だと思いますか?」「授業の内容はよくわかりますか?」等の回答でどれも全国平均を上回っており、本校児童の理科の学習に対する興味・関心の高さが伺われます。理科の学習にとって興味関心や好奇心を持つことは大切なことです。理科の専科という本校の特徴を活かして、授業でもそのような児童の力をさらに育てていきたいと思っています。

【質問紙からわかる児童の様子や意識から】

「朝食を毎日食べている」、「毎日、同じくらいの時刻に寝起きしている」など基本的な生活習慣は、全国・府平均と比較しても安定して、家庭での生活リズムがきちんとしてきている児童が多い傾向がみられます。

授業内での「あきらめずにいろいろな方法を考えますか。」や「もっと簡単に解く方法がないか考えますか。」という質問には「当てはまる」と回答した児童が全国平均を上回っていました。授業でも論理的に考え、粘り強く取り組む姿勢が伺えるようになりました。

「自分には、よいところがあると思いますか」、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」などの質問に対して「当てはまる」と回答する児童が全国・府平均より多く、人に認められていると感じることができている傾向がみられます。そのことを通して学習やいろいろな活動に対する自信や自己肯定感を高める取り組みを今後も続けていきたいと思っています。

ICT、タブレットの活用では、「PC、タブレット等の ICT 機器をどの程度使っていますか」「学校で、授業中に自分で調べる場面、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使っていますか」という質問に、「ほぼ毎日」と回答した児童の割合が全国平均を上回っていました。これは、教科ごとに授業において活用することで、児童が使い方に慣れ、活用できる力をつけるように取り組んできた成果だと思われます。

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に「当てはまる」と回答する児童は 91.0% で、全国・府平均を少し上回っています。「当てはまらない」と回答した児童もほほありませんでした。これまで行ってきた個別の聞き取りや人権アンケート等により児童たちの様子を把握する取り組みをさらに進めています。